
戦闘狂が転生！？入学式と新しい出会い

琳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦闘狂が転生！？入学式と新しい出会い

【Nコード】

N21580

【作者名】

琳

【あらすじ】

超ポジティブ&鈍感な少年明人。

それがある日手違いで死んじゃった！？

「ふ・ざ・け・ん・な・よ・？」

「ぬおっ！？ぐえ、ぐぼわ！？ぐぎゃーーーーー」

なんか色々とひどい小説です。

ああ 何故に俺？

PPPPPPPPPPPPPPPPカシヤッ

「う？うーん」「ゴキユッ

「うおっ！？」

痛たた・・・。

って何かさつき変な音したよな・・・？

「明人？ご飯出来たよ〜」

タンタンタンタン がちゃ

「なにやってるのよ・・・ご飯食べな。」

あーい。わーあったよ。食べりゃあいいんだろ食べりゃあ。

「めんどいな。」
「ばしっ！ー！！」

いてえ

もぐもぐもぐ……（食事中）

「いぢ。うんじゃ行ってくる母さん」

「行ってらっしゃい」

ああ。寝みい。

ん？子供が……！なんで飛び出すんだ！？
信号待ちしていた俺は、とっさに飛び出して子供をつき飛ばす。
だけど、俺が……！

ぐしゃあ……。

俺は、死んだのか？

むう・・・チートすぎだよ(前書き)

ああ、やっとだ・・・

むう……チートすぎだよ

横、真っ白

後ろ、真っ白

正面、土下座している100は越えているかと思わせる白髪ジジイあり

「すまない、ほんつとつにすまない」

なんだ？

「……実は、」

実は？

「あんたは、ワシの手違いで死んでしまった！すまんっ！」

ははは……そーなんだ。

「で、すむかこのやろおおおおおっ！」

「ぎゃばらげふうっ!?!」

ああ、すつきりした。

「い、いたたた……何をするんじゃ！神にむかって！」

はあ？そーなんだ

神（爆笑）なんだ。

「な、なんかバカにされた気が・・・」

ああ、バカにした

「うっ、ひどいのお」

それがどーした

オメーを殺すのが今の願望だ

「ひっ！！」そ、それでの、おぬしを転生させたいのだ。」

おし、仲良くしようじゃないか

「なんかいつてることが違うが、いいか）ふむ、能力や願いをを10まで聞こう。転生先はネギまじゃ」

「おし、言っぞ。

まず、1・気をラカンの10000倍

2・魔力を、ナギの20000倍

3・ありとあらゆる物を創造する力

4・封神演義の武器を使えるようにしてくれ

5・後魔法と技の知識をくれ

6・力の制御

7・オリジナル魔法

8・体力を底なしに

9・漫画や小説の武器

10・漫画や小説の魔法・技

以上だ」

「チートじゃの、じゃあいくぞ。ホレ」

え？なんで穴が？

「後、封神演義的那叱もパートナーに付けておこつ」

じっ、自由落下だとおおお！？

じじい、恨むぞ・・・（カク）

むう・・・チートすぎだよ(後書き)

ああ、なんかいろいろひでえ

那叱だぁ・・・

ヒューーーーーー

「お久しぶりです皆さん空から自由落下している明人です。」

只今、神（爆笑）から落とされて現実逃避中です

「あー、マジどうすっかなぁ・・・

んーと・・・そーだ、ほれっ！」

あ、出来た。

「ホイッと」

地面に障壁を張ってその上に移転した

「それにしてもべんりだなあ、やべっ！不老不死にしてもらうの忘れてた。・・・そーだ、えつと俺が不老死、あ、手紙？なに『不老不死にいといたからの』。気が利いてるじゃねーか」
よし、やるべきことは・・・

「てか、那叱どーすんだ？（？ー？）」

「うっ！？ココはどこだ？」

後ろから幻聴が・・・。

「おいつ！お前は誰だ！」

マジで本物かよ

「ジジイに落とされたのだが・・・ココはいつたい・・・？」

「お前もか・・・」

「お前もか？僕は那叱だ」

「俺は、明人だ。よろしくな。」

「ところでココは？」

「ネギま！の世界らしい。魔法やらなんやらがいっぱいあるところだ。」

「魔法？僕達の妖術とかのことか？」

「にているが、違う。一応この世界の知識を与える痛いがじとしている。」

「???？」

そういつて俺は、那叱の頭を人差し指でたたく。」

「いつ!?!いだだだだっ!」

のた打ち回ること数十分後・・・

「ぜえ、ぜえ。うう、頭がまだ痛いが一応は分かった。」

「すまん、まあ、これからよろしくな。」

「ああ、よろしく明人。」

「ほれ、宝貝。」

「ん？落としていたのか。」

「どっか野宿できるところを探そう。」

「そうだね。お腹すいたし。」

「さて、どっになるか……」

過去？（前書き）

投稿遅れてごめんなさい

過去？

「おい、起きろ」

なんだあ？

「おい・・・いい加減に反応しろ！ってゆうか授業中ねるなああああああああ！」

どごお。

おお、見事ドストライク！

なにが？なにがって、ドロップキックに決まってるだろ。

「んあ。おはよミツチャン」

「みつちゃんじゃねえええ！」

「キレやすいからもてねえんだよ。可愛いのに。」

「何気に痛いところついてくんじゃん」泣。

「まだねみい。ねかせてえ〜（うそ泣き）・・・ゲーゲーゲー。」

「おもいつきしねてんじゃん。もういい、寝とけ。」

「いえっやー・・・ぐびー」

過去？（後書き）

チヨイ短い

俺の心境（前書き）

今日は、明人の親友のちよつと狂つた心境の話。

俺の心境

くくくくくく、くははははは、アイツが、アイツがいなくなった！！

あいつのせいで、俺はいつも二番だった。

バレンタインデーのチョコの数も、運動神経も、テストだって。

けど、いつもあいつのそばに居た

あいつのそばに居ると楽しかった

あいつと話すと楽しかった

でも、逆にそれが悔しかった

いやだった

でも、でも。

もう終わりだ、もうあのお人バカよしに助けられることもない。

はは、ははは

あ、あはは、は、はは。

あは、あははははははははっ！

さよなら、親友ばかよ。

おまえは、いつつ俺をおいて行くな……

ばーか………

俺の声はむなしく空に消えていった

俺の心境（後書き）

どうでした？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2158o/>

戦闘狂が転生！？入学式と新しい出会い

2011年10月7日17時58分発行